

エステBプラン

経営と美容に特化したエステティックの専門誌 [エステ ビープラン]

特集

店長・幹部スタッフの やるべき事（役割）

エステティックサロンの経営は店長・幹部スタッフで決まると言われ、それだけ店長・幹部スタッフの役割は重要になります。今号の特集では、店長・幹部スタッフのやるべき10ヶ条やコンサルタントの方の実践から学んだ経験談などから、サロンの経営、スタッフ教育に役立つ内容になっています。

2017
vol. 16
定価 952円
(+税)

2017年(平成29年)4月30日発行
年4回(4・7・10月各30日発行)
第5巻 第2号 通巻16号

今後のエステティックの方向性は「便宜性」 だからこそクローズアップされる 「インディバ®」の可能性 「ビューティーワールド 2017」

5月15日から3日間、東京ビッグサイトで行われる「ビューティーワールド ジャパン 2017」に出展する株式会社インディバ・ジャパン。同社は第一回開催から出展、それも「インディバ®」ブランドのみを訴求してきているという稀有な企業です。日本市場で23年、「温熱」という基本機能は発売当初と変わらないのに、なぜ支持され続けるのか。それは便宜性にヒントがありそうです。



【ER42】



【MD530】



【HCR801】

エステティックの市場規模も頭打ちといわれ、これからのエステティックは、単に「痩せる」「サイズダウンする」を目的にするだけでは、生き残りが難しい時代になってきています。もっと広い意味で「健やかに美しく」を目指す必要があります。そのためにはエステティック側も従来の施術だけでなく、鍼灸や柔整など治療院で行われているスポーツ医学、さらには統合医療をはじめとする医療分野まで視野に入れ、自施設での施術に取り込んでいくことが求められます。

これが便宜性につながります。お客様からみれば、そのエステティックサロンに行けば、ボディーの悩みだけでなくそのほかの不調も改善してもらえるかもしれないからです。病院にたとえれば、胃腸の調子が悪ければ内科、膝が痛ければ外科、鼻づまりがあれば耳鼻科とそれぞれの科を受診しなくてはならなかったのが、一箇所ですべて診てもらえるようなものです。経営面でもお客様ひとりのトータルケアを行うことができるわけで、収益でも大きなプラスが見込めると思われます。

とはいえ、エステティックサロンでこの便宜性をかなえるのは、簡単なことではないのも事実。エステティシャンが鍼灸や統合医療分野までの知識、技術を習得するには時間がかかります。またハンドテクニックや機器で美容に関する部分はこなせても、痛みや身体の不調を改善することは難しいのも現実。仮にできたとしても、エステティックサロンでは法規制があるので、「肩こり改善」「膝痛に効果」などと疾病名を挙げて広告することはできません。

そこでクローズアップされてくるのが高周波温熱機器「インディバ®」です。独自のメカニズムによる「深部加温」を武器に、世界で30年以上、日本でも23年の歴史を数えるこの機器は、モデルチェンジはあっても基本的な機能は変わらないながら、エステティック市場のみならず、美容クリニックを中心とするメディカル領域、近年はスポーツや鍼灸・整骨分野へも浸透しています。



実は「温熱」だけではないという 幅広い有用性

なぜ「温熱」という機能のみで、広範囲から支持されるのでしょうか。「身体を温めることは、人が健康に生きることすべてにつながるからではないでしょうか」。こう話すのは、インディバ・ジャパン代表取締役会長、山口祐司氏です。最近では冷えを中心とする身体の不調を改善するための「温活」が注目され、「靴下の重ね履き」「湯たんぽを使う」「温かいものを飲む」など、さまざまな手段が紹介されています。対して「私どもは発売当初から低体温の危険性を訴え、今日まで『体内温暖化』を提唱しているのです」と山口会長。温熱機器のパイオニアとして日本に上陸した「インディバ®」は、「温活」の先駆者でもあったのです。

しかも「持っているポテンシャルには、わたしどもでも未だに驚かされることもある」と山口氏は言います。

現在インディバ・ジャパンは、スポーツ・治療分野で、「インディバ®・アクティブ」というブランドも展開していますが、こちらでは温めることに加え、主として急性期の痛みを緩和に「非熱」という、ほとんど熱を生じない施術法も使用しています。「インディバ®・アクティブ」は医療器ではありますが、メカニズムは「インディバ®」と同じため、「インディバ®」でも「非熱」の施術は可能。つまり特殊なテクニックを身につけなくても、「インディバ®」なら、通常の施術の中で痛みへのケアができるのです。また使用している周波数である0.448MHzの電流自体が、身体状況を改善させることも分かっているそうです。

このほか、治療の補完として使用すると、より高い治療効果を生むことが統合医療分野では知られていますが、最近ではサラブレッドへの施術も開始し、運動能力の向上や疲労回復に効果を上げているとのこと。長い実績を持ちながら、まだまだ新たな可能性も秘めた機器。これからのエステティックに求められる便宜性を備えた機器、それが「インディバ®」といえるでしょう。今年の「ビューティーワールド ジャパン」では、初日の5月15日に「『不健康長寿国』から『健康長寿国』へ。健康寿命延伸を重視し市場は便宜性に期待」の演題で、山口会長によるプレゼンテーションが行われます。ぜひ会場へ足をお運びください。



山口祐司会長

業界内で類を見ないインディバ・ ジャパンのアフターフォロー

「インディバ®」のみで23年。複数の機器を販売することが当たり前のようになっているエステティック業界にあって、貴重な存在といえるインディバ・ジャパン。「教育なくして販売なし」のポリシーのもと、独自のアフターフォロー体制を築き、ユーザーの方々と「ファミリー」といえる関係を築いていることも、長く信頼を得ている理由の一つ。

■機器 8 年間保証

お客様に安心して「インディバ®」を使ってもらうための長期保証。

■継続的無料講習

毎日行っている技術講習や、新たな施術提案などを行う定期講習を、施設オーナーのみならず、スタッフもすべて無料で受けることができます。



JAPAN

「ビューティーワールド ジャパン 2017」
開催日時：2017年5月15日（月）～17日（水）
開催場所：東京ビッグサイト
株式会社インディバ・ジャパン出展位置：7-55
（東7ホール入口正面）

プレゼンテーション日時：
2017年5月15日（月）
14：20～15：10
東7ホール内プレゼンテーションルームC

プレゼンテーションタイトル：
「『不健康長寿国』から『健康長寿国』へ。
健康寿命延伸を重視し市場は
便宜性に期待」



株式会社インディバ・ジャパン
TEL：03-5768-8871
<http://www.indiba.co.jp>